



たかぎ みつお
高木 光雄 議員

ふたば未来学園

立地町としての支援は？

町長／協議の下に支援を実施

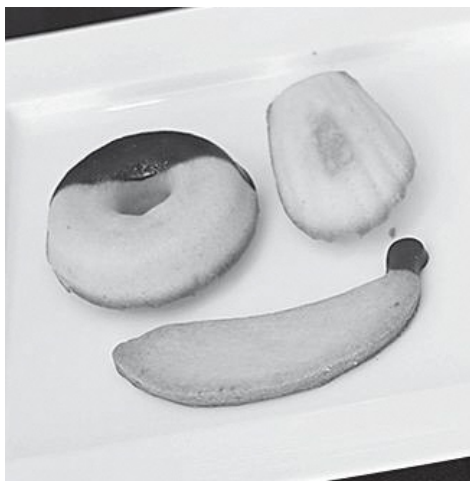
高木：学園の立地町の首長として、現状の学園をどのように捉えているのか伺います。

町長：ふたば未来学園の実践的な学びが地域の活性化につながり、被災地に開かれた未来創造に向けての日本の教育を創出し、国内、国際社会へと大きく羽ばたくふたば未来学園を誇りとして受けとめています。

高木：学園が開校してから9年が経ち、学園の運動活躍や地域活動等がたびたび報道されています。

広野産バナナの6次化商品開発や行事参加の支援を受けている一方で、町から学園に対してどのような支援を実施しているのか具体的な内容を伺います。

町長：①校舎等敷地の無償貸し付け、総合グラウンド・テニスコート・多目的運動場の使用料の免除、②広野町



町産バナナを使ったお菓子

文化及びスポーツ振興基金を活用した全国大会等に参加する際の助成、③安心・安全な通学の確保において、警戒パトロール隊による巡回、継続した通学路街路灯・防犯灯の整備、④津波時における避難場所の確保、JＲ常磐線が運転を見合わせた場合の待機場所の提供、⑤学園からふるさと農道へのアクセス道路の整備、各種事業について、県と学園との協議の下、支援に当たっている現況にあります。

高木：学園と町とで定期的に意見交換会等を開催し、両者間での要望・課題点を協議、実行しているか伺います。

町長：学園の運営に必要な事案について、随時、相互理解と協力のもと、協議し、諸課題の解決に取り組んでいます。

高木：教育長は町内に中学校が2校存在している現状等をどのように捉えているか伺います。

教育長：ふたば未来学園中学校は郡外に避難している小学校卒業生の受け皿としての役目を果たしています。中学校が2校存在していることについては、広野小学校児童の進路選択の幅が広がり、早い時期から将来の展望ができるようになったと考えます。



多目的運動場を使用する女子サッカー部

給食費無償化

対象者の拡充は？

町長／国や県の動向を踏まえ対応

西内：現在行っている町立学校の給食費無償化事業を拡充し、町民の子どもが通っている小中学校の給食費を補助することはできないか伺います。

町長：町は、令和3年度から保護者の負担軽減、子育て支援及び町立学校の魅力化を図る観点から学校給食無償化事業を開始いたしました。



ふたば未来学園中学校給食 令和6年9月2日
出典 福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校ホームページ

公共交通事業

今後の方針は？

町長／利用状況等を捉えて取り組む

西内：町民バス、デマンドタクシー、過去にはタクシー利用料補助などを行ってきましたが、今後、公共交通事業をどのように展開していく方針か伺います。

町長：広野町地域公共交通活性化事業NOSSE（のっせ）及びタクシー利用料金助成事業の利用状況、利用者の声を捉え、高齢者等の交通弱者の移動手段を確保することを目的として地域公共交通の充実に取り組んでいます。



にしうち げんた
西内 玄太 議員

町は、国や県の動向を踏まえ、町立学校以外の小中学校に通学している児童生徒に対応してまいります。



デマンド交通（ジャンボタクシー）